

No.

7

—

434.436.
455.
467.468

—

1

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日： 令和4年（2022年）4月18日

作成者：（課名） 市民協働推進課

（氏名） 阪西 敏

1 基本情報

項番	入力欄
まちづくり協議会名	まちづくり協議会コミュニティ末広
地域ごとのまちづくり計画	<p>【基本目標】</p> <p>(1) 安心・安全なまちづくり (3) 賑わい・交流のまちづくり (4) 快適な環境づくり</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <p>(1) - 2 - 6 廃品回収持ち帰りの対策</p> <p>(1) - 3 - 2 歩道の信号の点灯時間の調整（警察と協議）</p> <p>(3) - 2 - 2 コミュニティスクールに協力し、子どもたちの教育環境の改善や地域との関わりについて検討</p> <p>(4) - 2 - 1 街路樹や植栽の剪定に関する定期的な意見交換の実施</p> <p>(4) - 2 - 2 駅前街路樹の野鳥のフン対策の検討</p>
取組内容の関係課	(クリーンセンター) 管理課 (クリーンセンター) 業務課 防犯交通安全課 公園河川課

2 対話の状況

(1) 実施概要

ア 日時： (ア) 令和4年(2022年)3月25日(金)午後1時
(イ) 令和4年(2022年)4月18日(月)午前10時

イ 場所： 宝塚市庁舎内

ウ 出席者： 以下のとおり

(ア) 令和4年(2022年)3月25日分

<まちづくり協議会> ●●

<協働の取組推進担当次長> 藤重・企画経営部次長(情報システム担当)

<市民協働推進課> 阪西職員

(イ) 令和4年(2022年)4月18日分

<まちづくり協議会> ●●

<市民協働推進課> 岡田係長、阪西職員

(2) 確認できたこと

コミュニティ末広から市へ、2月18日に推進シートの提出があった5項番について、その調整の結果をとりまとめ、3月22日に市からコミュニティ末広の●●代表宛てにデータ送信するとともに、3月25日に●●代表と●●第一部長に面談にて市から説明を行った。

その後、3月28日に●●代表から市へ、各項番に対する「対応意見」がデータ送信された。

各対応意見に対して今後の進め方について、4月18日に市と●●代表で確認した。

以上にかかる、これまでの対応等については別紙「まちづくり協議会コミュニティ末広_地域ごとのまちづくり計画推進シートにかかるこれまでの対応等まとめ(R4.4.18)」のとおり。

R4.2.18_コミュニティ未広から示された推進シートの内容				R4.3.22_市の対策内容(案)		R4.3.28_コミュニティ未広からの対応意見	R4.4.18_今後の進め方
項番	具体的な取り組み	【目的・課題(どのような地域課題があるか)】	【内容(何をするのか、いつするのか等)】	市の関係課	対策内容(案)(令和4年3月22日現在)		
1	街路樹や植栽の剪定に関する定期的な意見交換の実施	今回意見交換を行いたいのは消防本部前の市道逆瀬川米谷線と県道337号との交差点にある街路樹に関する要請です。 逆瀬川米谷線の北側に植えた街路樹が県道337号で終端になる部分の高さが高く、子どもが横断歩道を渡るためこの高い部分の東側に入ると逆瀬川駅方面から来た自動車、単車、自転車には子どもが居ることを目視できない状態です。 子どもたちの下校時には、極めて危険な状況にあります。 よって、街路樹の高い部分を刈り込んで頂きたいのが要請事項です。	要請内容は、費用は少額なため、できるだけ早く実行していただきたくお願いします。	公園河川課	・この植栽帯の除草と低木の剪定は、年3回の頻度で実施しています。 ・直近では、令和4年3月に実施しました。 ・ご依頼が低木の背丈をより低くすることなどの場合は、ご相談いただければ可能な範囲で対応させていただきます。	対象児童は小学校1年生としていただきたい。 平均身長を調べますと男子116.5cm 女子115.5cmでした。	市公園河川課が対応し、子どもが見える80センチくらいの高さで刈り込みを行うよう進めて行く。剪定の時期については剪定業者との新年度の契約等の関係から、令和4年6月末までに実施する。
2	駅前街路樹の野鳥のフン対策の検討	逆瀬川駅前に集まっている野鳥のフン害が問題となっています。 ここでは集まってくる野鳥の数が多く、鳴き声やかましく、また、フンが歩道に落ちて通行人に迷惑をかけています。 このため、野鳥が来ないようにするにはどんな対策があるかを調査しましたが有効な対策を見出すことはできませんでした。 まちづくり計画を作成するとき、関係機関から「この樹木剪定は2年に一度定期的に行っている。剪定をすると野鳥は来ないので、剪定が一番有効のように考えますとの回答を得ました。	現状は、上述した通りですので、さらに最新の対策を研究して、対応するか？ 助言を重視して、伐採を中心にするかを検討して行きたいと考えます。	公園河川課	・市内の道路の植栽帯に植樹されている高木につきましては、概ね2年に1回の頻度で剪定を行うこととしています。 ・剪定の頻度についての具体的な基準はありませんが、市の予算等の事情から、現時点ではこの頻度となっておりますことをご理解ください。	現状は、上述した通りですので、さらに最新の対策を研究して、対応するか？助言を重視して、伐採を中心にするかを検討して行きたいと考えます。 最新の研究は期待できないと思います。まずは2年に1回の剪定をして、次年度の枝の茂り具合を見てみたいと思います。	対応意見のとおり、地域において一旦様子を見ていく。
3	廃品回収持ち帰りの対策	廃品は、回収品毎に定められた曜日に回収されています。 廃品のうち、資源物(例えば、缶、新聞紙、雑誌、段ボール)は市の収集車が回収する前に一般の収集業者が収集していることが多くありました。 それも収集車を配車して行うことがありました。 市民は、そのような業者に注意しようとしても「こわい顔をした収集人にはいづらく、放置しておりました。この頃は、収集業者が配車して収集することは少なくなったようですが、一般人が自転車で来て持ち去ることは続いているようです。 また、自治会は、自治会会員に特定の日を回収日に指定して有用廃棄物を出すよう依頼しております。この回収によって、回収業者から再生資源回収費、宝塚市から再生資源回収助成金が入ります	資源物を持ち去る行為は条例で禁止されていますので、廃品回収持ち帰りの対策を行政と市民が協力して行いたいと思います。	(クリーンセンター)管理課、業務課	【※地域と関係課との対話について日程調整します】	持ち帰りは、自治会により差があります。 マンション自治会では、ゴミ置き場がシャッターで閉じているため、持ち帰りはありません。伊子志自治会と逆瀬川自治会が対象になると思います。	関係課との対話の実施に向けて、市民協働推進課が日程調整を進めていく。

項番	具体的な取り組み	【目的・課題（どのような地域課題があるか）】	【内容（何をするのか、いつするのか等）】	市の関係課	対策内容（案）（令和4年3月22日現在）	R4.3.28_コミュニティ末広からの対応意見	R4.4.18_今後の進め方
4	歩道の信号の点灯時間の調整（警察と協議）	<p>スーパー万代の西側の県道337号を横断するときの信号点滅は、緑になっている時間が短く、赤になっている時間が長いのが現状です。平たくいうと「横断するに長時間待たされる。」</p> <p>このため、この場所では信号を無視して赤のときに横断する人が多く、危険です。</p> <p>特に、朝の通勤、通学時に多い。</p> <p>信号を車と徒歩の人との通行状況に合わせて、点滅時間を調整できないのか？との意見があります。</p>	<p>信号は1カ所の横断歩道に着目して決めるのではなく、広域にわたる調整や曜日や時間帯を考慮して決められると考えます。</p> <p>このため、誰が主体となって、現状の信号点滅時間をどのように決めるのかを教えてくださいたくをお願いします。</p> <p>その方法に個々の横断歩道の点滅時間を変更する余地があるようでしたら、スーパー万代前の信号の変更をお願いしたいと思います。</p>	防犯交通安全課	<ul style="list-style-type: none"> ・当該信号機は地域制御式のため、県警本部にて路線集中管理されています。 ・県道及び交差する市道からの車両交通量を考慮して、現状の信号サイクルに制御されています。 	<p>本件は県警本部の所管であるため、地域からの要望もあることが望ましいと考えます。</p>	<p>県警本部に地域からどのようなルートで要望していくかを含めて、引き続き地域において検討していく。</p>
5	コミュニティスクールに協力し、子どもたちの教育環境の改善や地域との関わりについて検討	<p>宝塚市教育委員会の資料には下記のような記述があります</p> <p>学校運営協議会を組織し、校長・教頭・教員、地域住民、保護者等が一体となって学校運営や教育活動について意見を述べるのが「コミュニティ・スクール」です。コミュニティ・スクールでは、「地域ではどのような子どもたちを育てるか、何を実現していくか」という目標やビジョンを共有することが重要です。</p> <p>地域の人々による学校の支援体制が十分に機能し、保護者や地域の方々と連携・協働して、子どもたちの成長を支えていく学校の仕組みとして、「コミュニティ・スクール」を推進します。</p>	<p>今年度7月12日に末広小学校コミュニティ・スクール準備委員会を開催しました。</p> <p>この場でコミュニティ・スクールの概要説明や質疑応答を行いました。</p> <p>12月22日には第1回学校運営協議会を発足させ、コミュニティ・スクールの取り組みについて意見交換を行いました。</p> <p>令和4年3月2日には第2回学校運営協議会を開催する予定です。</p>	-	<p>【※既に学校運営協議会を発足するなど、取り組みを進めていただいているため、状況報告として承ります。】</p>	<p>意見は有りません。</p>	-